

プロジェクト奨励賞審査結果一覧及び交付額一覧

番号	団体・個人	代表者	所属	申請テーマ	テーマの目的	期待される効果	評価	結果	奨励金
1	荒キャン東北 応援隊	小野 敬济	健康福祉学部 理学療法学科 3年	岩手県陸前高田市にお けるボランティア活動	仮設住宅にてマッサージや手芸な どといった活動を行うことによっ て、笑顔が溢れる楽しい空間を創 出し、仮設に住む方々同士あるい は部員とそこに住む方々とのつな がりを強化することで、現時点あ るいは将来的な孤立防止や被災地 の活性化を目標とする。	仮設住宅で行う仕事を通じて、人々の交 流を深め、コミュニティの形成を助け る。また、仕事を通じて、孤立防止、被 災地の活性化につなげる。また、医学的 な知識を生かして、健康管理にも役立 てる。	自分たちの学習を 実践するととも に、仮設住宅に住 む方々の健康の管 理も含めて、コ ミュニティの形成 を助け、首都大の 名を高める	対象とす	20万円
2	Happy C ircle International (世界の幸せつ なげてみる 会)	森 久美子	人間健康科学研究科フロ ンティアサイエンス学域	在日外国人の子供たちの Happy Lifeを 応援します - Chain of Happiness-	在日外国人の子ども達の健康と教 育に貢献しながら共に繋がり、多 文化共生を目的とする。また、活 動者が様々な活動を通し、活動者 自身が国際的な人材となり得る資 質能力を養いながら、Happiness を共有していくことを中核目標と する。	子どもの保護者は、様々な悩みを抱えな がら、相談できる相手や、日本のコミュ ニティ・情報を持ち合わせていないこと がある。日本国内において困難や悩みを 抱えながら生活、生きている外国人の援 助の一つとなる。さらには、国際化の進 む中、英語を苦手とする日本人学生に とっては、英語実践学習は成果を上げる ことができ、様々な活動を通し、活動者 自身が国際的な人材となり得る資質能力 を養うことができる。また、活動の発表 を通じて、大学の存在価値のアピールも 行え、多文化共生の社会へのアピールで きる。	インターナシヨナ ルスクールを通じ て、参加者の国際 性を高めることが 出来、首都大の存 在価値をアピール 出来る	対象とす	15万円
3	TMU-SF C・ 体 験！化学実験 実行委員会	鈴木 遥	都市教養学部 理工系 化学コース 3年	大学祭開催中に開催する 「体験！化学実験201 5」及び、学外で実施す る「出張！化学実験教 室」	化学の楽しさを多くの人に伝え る。化学実験を通じて、参加者 の知的好奇心を高める。その知 的好奇心を探究心へとステップ アップさせ、未来の化学者を目 指すきっかけを作る。	参加者に化学の楽しさに触れてもらい、 科学への関心を引き出す。取り組む学生 自身の実験における基本操作の習得や、 プレゼンテーション能力の向上が期待さ れる。仕事の段取り、役割の重要性の理 解リーダーシップの訓練等社会の求める 人材としての成長。	毎年、大学祭、出 張実験を通じて、 化学の面白さを伝 えている。このこ とが首都大の存在 価値を高めること につながっている。	対象とす	15万円